

外傷性視神経損傷に対する硬膜外視神経管開放術施行患者の長期予後に関する検討

1. 研究の対象

2009年9月から2017年8月までの間に当院にて外傷性視神経管損傷患者に対する硬膜外視神経管開放術を受けられた方

2. 研究目的・方法

我々は外傷性視神経損傷患者に対する安全確実な低侵襲手術を確立するために、硬膜外に視神経管を開放して、視神経、内頸動脈などの重要な解剖学的構造物の位置を手術早期に把握し良好な orientation の下に視神経管を開放することで視神経に対する負荷を最小限に抑制しつつ手術が完遂できるように努めています。今回、本法を用いて視神経管開放術を施行した外傷性視神経管損傷患者の神経学的あるいは放射線学的な治療成績に関する検討を、後方視的に行うことを目的としています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

病歴、手術前後の画像所見、合併症の有無、手術前後の神経学的所見に関する患者情報。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

脳神経外科講座 大谷直樹

〒359-8513

埼玉県所沢市並木3-2 防衛医科大学校脳神経外科講座

TEL) 04-2995-1511

FAX) 04-2996-5207

研究責任者：脳神経外科講座 森健太郎